

【組合概要】

千葉県セメント卸（協）は昭和58年にセメント産業が特定産業臨時措置法の指定を受けて、生産・流通段階で大規模な構造改善が進められていたのを受けて、県内のセメントメーカー特約店が袋詰セメントの流通の合理化を図るために昭和62年5月に72社の組合員により設立された。今年で創立20周年を迎える。

この間、最初の10年は希望膨らむ発展期でその後今日に至るまでは苦難の10年であったようだ。これを如実に物語るのが組合員と取扱量の推移で、組合員は廃業や統合が相次ぎ現在は44社。取扱数量は平成2年の271万トを最高に昨年は68万トとピーク時の4分の1にまで減少してしまった。

それでも県下の袋詰セメントのほぼ全量を扱っている。

また、毎月地区ごとに支部会を開催して情報交換と組合員の意思の疎通を図っている。さらに年に2回は講師を招いて講演会を開催している。ちなみに、今年の新春賀詞交歓会では創立20周年記念講演として小松利光九州大学大学院教授に「本当は怖い都市災害」明

千葉県セメント卸(協)

塚本 福二 理事長



◎つかもと・ふくじ 名古屋商科大学産業経営学科卒。(南)上野製作所を経て昭和51年塚本建材(株)入社、昭和59年代表取締役。千葉県セメント卸(協)理事長、セメント卸(協連)理事、本会副会長。全国中小企業団体中央会長表彰、千葉県知事表彰、中小企業庁長官表彰。栃木県出身、58歳

厳しい経営環境を 組合組織の力で乗り切る

日への投資を怠るなかれ」と題する講演をお願いした。

【塚本福二理事長の横顔】
塚本理事長は発起人と

して組合の設立に参画して以来現在まで理事長を務めている。この間組合を取り巻く環境が大きく変わる中、組合員の事業

千葉県セメント卸 (協)

所在地 千葉市中央区富士見 2-22-6 (富士ビル)

代表者 塚本 福二

会員数 44名 (出資金 7,920万円)

25誌)について提案。全国の同業者の要望として、セメント各メーカーの同意を得て平成8年6月に実現された。

塚本氏は塚本建材(株)代表取締役。グループ会社には(株)フクシン、(株)塚本、オメガ・ソフト・エンジニアリング(株)がある。塚本建材の主な営業品目はセメント、生コンクリート、住宅機器、OA機器、その他建築資材全般で首都圏を中心に建築資材の販売を通じて地域の発展と共に歩んできた。

塚本建材は目先の利益にとらわれず、適正利潤の健全経営をモットーに、「感謝と報恩」の精神で全社員が一丸となってお客様に尽くしてきたそうです。

趣味や特技をお伺いしたところ、日々お忙しい塚本さんですが、仕事の合間を縫って、海外旅行に出かけたり、スポーツを楽しんでいるそうです(ゴルフもあくまでも趣味で特技の域には達していないとのこと)。また、利き酒などもするそうで、趣味は多岐にわたっています。読書は仕事関係の本や業界誌に目を通すのが精一杯とのことでした。